

【典型問題】

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

今は昔、人のもとに宮仕へしてあるなま侍^(注)ありけり。することのなきままに、清水^(注)へ人まねして千度詣^{せんどうで}を二度したりけり。その後いくばくもなくして、主^{しゅ}のもとにありける同じ様なる侍と、双六^{すくろく}を打ちけるが、多く負けて、渡すべき物なかりけるに、いたく責めければ、思ひわびて、「われ、持ちたる物なし。ただ今たくはへたる物とは、清水に二千度参りたることのみなんある。それを渡さん」と言ひければ、かたはらにて聞く人は、謀^{はか}るなりと、をこに思ひて笑ひけるを、この勝ちたる侍、「いと良き事なり。^A渡さば得ん」と言ひて、「いな、かくては受け取らじ。三日して、このよしを申して、おのれ渡すよしの文書きて渡さばこそ受け取らめ」と言ひければ、「良き事なり」と契りて、その日より精進して、三日といひける日、「いざ清水へ」と言ひければ、この負け侍、¹をこのしれ者に会ひたると、^Bをかしく思ひて、よろこびて連れて参りにけり。^(a)言ふままに文書きて、^(b)御前にて、師の僧呼びて、ことのよし申させて、^(c)「二千度参りつる事、^(注)某に双六に打ち入れつ」と書きて取らせければ、受け取りつつ、よろこびて伏し拝みまかり出でにけり。

【出典】

『宇治拾遺物語』(巻六の四)

【重要古語】

いくばく
いたく
思ひわぶ
をこ
いと
よし(由)
文
契る
しれもの
をかし
取らす
まかり出づ
ゐる
たより
まうく
徳
司
いたす
思し召す

その後いく程なくして、この (d)、思ひかけぬことにて捕らへられて、獄ひとやにゐにけり。取りたる侍は、思ひかけぬたよりある妻めまうけて、いとよく徳2つきて、司つかさなどなりて、頼もしくてぞあり (e)。

「目に見えぬものなれど、^C誠の心をいたして受け取りければ、仏、あはれと思し召おほしたりけるなめり」とぞ、人は言ひける。

〔宇治拾遺物語〕

(注1) なま侍——身分が低く年も若い侍。

(注2) 清水——京都の清水寺。

(注3) 某——なにがし。だれそれ。

問一 傍線部A「渡さば得ん」、B「をかしく思ひて」の意味として最も適当なものを、次の各群の中からそれぞれ選べ。

- | | | |
|---|-------------|---------------|
| A | 1 渡すなら渡すべきだ | 2 渡したからにはもらおう |
| | 3 渡すならもらおう | 4 渡したなら取るだろう |
| | 5 渡さないなら取ろう | |
| B | 1 滑稽に思つて | 2 興味深く思つて |
| | 3 趣があると思つて | 4 可愛らしいと思つて |

5 懐かしく思つて

A	
B	

問二 傍線部1「をこのしれ者」、2「徳つきて」を、それぞれ句読点とも十字以内で現代語訳せよ。

2	1

問三 二重傍線部(a)「言ふ」とあるが、ここでは誰が誰に向かって言うのか。次の中から選べ。

- 1 主 2 負け侍 3 勝ちたる侍 4 清水寺の僧
5 清水寺の仏

が
に

問四 二重傍線部(b)「御前」とあるが、誰の「御前」なのか。本文中のことを抜き出せ。

--

問五 二重傍線部(c)「申させて」とあるが、ここでは誰が誰に向かって「ことのよし」を申すのか。問三の選択肢の中から選べ。

が
に

問六 空欄(d)を補うのに最も適当なものを、次の中から選べ。

- | | | | | |
|-------|-----|-------|-------|--------|
| 1 負け侍 | 2 主 | 3 しれ者 | 4 師の僧 | 5 二人の侍 |
|-------|-----|-------|-------|--------|

--

問七 空欄(e)を補うのに最も適当なものを、次の中から選べ。

- | | | | | |
|------|-----|------|-----|------|
| 1 つれ | 2 ぬ | 3 たり | 4 き | 5 ける |
|------|-----|------|-----|------|

--

問八 傍線部C「誠の心をいたして受け取りければ」とあるが、勝ち侍の清水での行動の中で、「誠の心」を推察させる端的なことを、本文中より五字以内で抜き出せ。
